

会 議 錄

会議の名称	令和6年度第2回さど未来創造・戦略推進会議
開催日時	令和6年 12月 26 日 (木) 13 時 30 分から 14 時 00 分
場所	佐渡市役所本庁舎 2階 大会議室 (Zoom 併用)
次 第	1. 開 会 2. 座長選任 3. 議 題 (1) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について 4. 閉 会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	学識有識者ほか 16 名 (事務局) 企画部総合政策課 課長 笠井 貴弘 企画部総合政策課 政策推進係 係長 菊池 直之 企画部総合政策課 政策推進室 主事 和田 浩樹
会議資料	資料1:令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証 資料2:令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧 資料3:令和4年度(令和5年度への繰越分)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績一覧
傍聴人の数	傍聴人1名
備考	—

会議の概要(発言の要旨)

1.開 会	
発言者	議題・発言・結果等
総合政策課 和田主事	○座長選任までの間、事務局で進行することを説明
総合政策課 笠井課長	○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、感染症対策事業や物価高騰対策事業に活用でき、令和5年度は保育園の感染症拡大防止対策事業や物価高騰対策に関係する事業を実施した。 ○本交付金の制度要綱において、交付金を活用して実施した事業の実施状況及びその効果を公表するものと定められている。 ○公表に当たっては、客観性・有効性の観点から、本会議参加者からご意見をいただくとともに、今年度、来年度に向けた事業に活かして

	いきたい。
総合政策課 和田主事	○事務局の出席者を紹介
2.座長選任	
発言者	議題・発言・結果等
総合政策課 和田主事	○第1回会議で座長を務めた方を引き続き選任
3.議題(1)	
発言者	議題・発言・結果等
座長	○次第3.議題(1)について事務局から説明を求める
総合政策課 和田主事	○資料1～3を用いて説明
座長	○事務局の説明について、意見・質問を求める
A 氏	○給付金関係で、低所得者世帯の3万円の給付以外にも、過去に1世帯5万円や10万円の給付があったと記憶している。年度に関係なく給付金全体として、どれくらいの額を給付しているか。
総合政策課 笠井課長	○令和2年から給付金・対象者ごとに整理して後日回答する。
B 氏	○冬季生活支援事業の灯油購入費助成について、事業費が約3,500万円、交付金充当額が約615万円、国県補助が約1,300万円となっているが、その差額の約1,580万円は一般財源か。 他事業は、交付金充当と国県補助で全額事業費となっているため確認したい。
総合政策課 笠井課長	○一般財源である。
A 氏	○住宅リフォーム事業について、個人的に本支援を活用して二重サッシを考えていた際に、業者に問い合わせたところ業者が把握しておらず、業者が市担当課に問い合わせたところ、すでに予算枠に達し、募集を終了していた。 ○事業PRが足りなかつたと考えているが、予算枠が少ないため、あまり宣伝をしなかつたのか。
総合政策課 笠井課長	○住宅リフォーム事業は、毎年の通常予算で実施するものではなく、国から経済対策が示された場合に市が交付金を活用して実施することが多いが、本事業は人気があるため補助対象者は抽選により決定すると聞いている。 ○周知方法について、周知が不足しているのであれば、周知期間をしっかり設けるなどの工夫を行うよう担当課に伝える。
B 氏	○令和6・7年度の臨時交付金の状況を教えていただきたい。
総合政策課 笠井課長	○令和6年度も学校給食費高騰分の差額支援や家畜飼料代高騰の支援等も同様に実施しており、現時点で配分額については全て充当しているところ。

	<ul style="list-style-type: none"> ○また、今月12月に国の補正予算成立を受け、改めて各市町村へ臨時交付金が追加配分されることが決定し、佐渡市においては、低所得世帯支援枠で約2億7千万円、推奨事業メニュー枠で約2億1千万円が追加交付される。 ○支給を急ぐ低所得世帯給付金については、今年度内の補正予算で編成し、年度内から支給を開始できるようにしていきたい。 ○低所得世帯給付金以外については、令和7年度予算の財源に充当する予定だが、学校給食費支援や商品券事業等、どういった支援を実施するかは社会の状況を見極めて精査したうえで、予算編成していく流れになる。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ○プレミアム商品券事業は、事業費や交付金充当額のウエイトが高かった事業かと思うが、商品券発行額のほとんどを市民から利用いただけたため事業としてよかったですと思われる。 ○商品券利用可能店舗が2パターンに分かれており、地域にお金が落ちる仕組みに考えられていると思ったが、2パターンに分けることによって島内事業者やチェーン店系の事業者等から何か実施方法の評価はあったか。 ○経済対策という意味では、今後もキャッシュレスポイントも含めた商品券事業を実施されると思うため、今回の実施方法で良かった点、悪かった点、改善点等を整理されておくと、今後につながる。
総合政策課 笠井課長	<ul style="list-style-type: none"> ○できれば地元の店舗にお金が落ちて欲しいが、島外資本のスーパー や大型量販店等でも需要があるため、実績を見ながらウエイトなどを原課で検討し、実施しているところ。
4. 閉会	
発言者	議題・発言・結果等
座長	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者に全体を通じた意見・質問を求める <p style="text-align: center;">『意見・質問なし』</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ○以上で、本日の会議を閉会する。